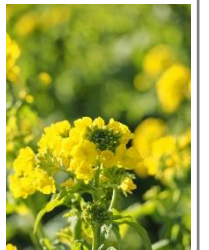




おんなで歌おう!

3月の青空の下、畦道に

菜の花が咲いています



社長と常務の来阪 (課長、所長の反乱) 2

「お〜い、皆集まってくるか」と私は面接を終えた所長達に声をかけました。「善後策をこのあと考えて討議しよう」高松の所長が「それがいい、どこに集まりますか?」「そうだなあ会議室は使えないし、地下の喫茶店のミーティングルーム空いているかどうか、一課長きいてくれるか」支店長が居ないので私が指示を出さねばならない立場でした。「はい、きいてみます」と一課長「空いているそうです」「ではそこに集まろう」私達は皆で7人の課長、所長が地下の喫茶店に集まりました。

「皆集まったか、それでは皆に今後どうするか聞きたいのだけれど、辞めるといった人は改めて聞くがだれとだれ?」「それは全員です」と神戸の所長。「そう!では従業員で辞めそうな人は何人ぐらいいるだろうか?私の部下

は全員辞めると言っているのだが「それは、最終段階はわかりませんが、私の営業所では、男性は全員辞めると言っています」と愛媛の所長。「私のところも女子の事務員をのぞいてほとんどが辞めると言っています。」と堺の所長。「そうか、それは大変なことだね。我々も含めて皆は若いから(平均年齢26歳)すぐ次の就職先は決まると思うが、私は代理店さんが心配ですね」と私。「そうですね、我々が辞めたら代理店さんは早晚潰れてしまうと思います。今の社長や常務では皆さんついていかなさそう、ついて行っても経営が我々が居ないと出来ないと思います」一課長。「その辺が一番心配だけれど、また、どういう理由で辞めるのかを代理店さんに説明するのが大変だね、社長や常務には辞表を叩きつけければ済むけれど」と私。

しかし私達が辞めたあとのことをとやかく出来るわけもないし、代理店さ

んには私達が辞めた後も頑張ってもらうしかないのですが、我々が深く代理店さんに入り込んで応援して来たので、ここで我々がいないとなると6ヶ月は持たないなあと思っていました。

皆もそうした思いは一緒でしょう。私は「ところで支店長はどこにいるの?なぜ姿を消して常務や、社長が入ってきて支店長を首にするような言動をしているの」と管理課長に聞きました。管理課長は「私が今知る限りでは、支店の予算を使わずに、その穴埋めが出来ずにととう常務や社長の知るところになつてしまい、姿を消しているのだとそこまではわかってる。それがどれ位の額になるか私も詳細はわからない」

要するに会社の金を使いすぎて上司にバレたと言いうことか、それは私も飲み食いし付き合っていたので、一連託生でしょうが、しかし管理課長は「飲み食いだけなら大したことはない、それ以上何倍もお金が無くなっている、支店長は飲む、打つ、買うの三拍子だったからね、おそらく博打にのめり込んでしまったのだと思う。管理課長として把握出来ない金銭が動いていて分からない会計になっているので、私の責任は重いと思

う」私は管理課長も大変な思いをこの数週間、いやもしかしたら数ヶ月間悩んでいたのだと思うと、同情とサラリーマンの宿命でしようか、上司に従ってきた末の結果ですね。

私は皆を見渡して「皆これからの人生大変でしょうが、部下と、代理店さんの行末を考えて行動してください。この先どこに勤めてもこの会社で得た経験を活かして、サラリーマンを続けるなり、自分で商売するなり、私が力を貸すことがあれば、いつでも力になるから、この縁を大事にしながら、それぞれの道に進んでいってください。」7人の勇士たちは明るくうなずくものもあれば、涙ぐんでいるものもありました。支店長はお金で失敗しましたが、私達に大きな財産を残して行つてくれました。この先の様な人には決して出会えないだろうと私は思っていました。

その後支店長は首、管理

職含め従業員の70%は退職、リコー教育機器大阪支店は全国の20%を売り上げていましたので、大阪支店がおかしくなれば全国の売り上げ、会社の経営に大きなダメージを与えることになるのを、社長や常務は気がついていなかったのか、6ヶ月後に社長、常務とも売上不振で首になり、リコー教育機器はやがて消滅していききました。トップのちよつとした嫉妬や、判断の誤りで、商売とは難しいもので、大きな会社でもすぐ潰れてしまうのですね。

私にとってこの経験は後の会社経営に大いに参考になりました。やはり商売は人ですね、良き人が居て初めて商売は成り立っていくのですね。

リコーを辞めた籠谷弘はその後独立して会社を立ち上げていくのですが、さとうまくいくのでしょうか、そこでの出会いが私の人生を変えていきます。

それは次回で……



歌声喫茶 3月・4月の予定

「洛西」(第1、3木曜日)

3月 7日、21日

4月 4日、18日

楽々亭第40回 3月の予定

3月12日(火)

境谷会館(場所変更)

午前10時~12時



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。